

平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年7月31日

上場会社名 株式会社グローバルダイニング 上場取引所 東
 コード番号 7625 URL http://www.global-dining.com/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)長谷川 耕造
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員最高財務責任者 (氏名)中尾 慎太郎 (TEL)03-5469-3222
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	4,746	1.8	△59	—	△67	—	△90	—
28年12月期第2四半期	4,662	1.5	△61	—	△141	—	△152	—

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 △121百万円(—%) 28年12月期第2四半期 △304百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	△9.01	—
28年12月期第2四半期	△15.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	7,086	4,000	56.2
28年12月期	7,608	4,118	53.9

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 3,980百万円 28年12月期 4,101百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年12月期	—	0.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,942	1.9	49	—	63	550.0	2	—	0.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

29年12月期 2 Q	10,081,800株	28年12月期	10,081,100株
29年12月期 2 Q	270株	28年12月期	210株
29年12月期 2 Q	10,081,247株	28年12月期 2 Q	10,072,552株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、平成29年8月4日に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容 (音声) については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計上の見積りの変更)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復基調が続いているものの、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響などにより先行き不透明な状態で推移しました。

外食産業におきましては、消費者マインドは持ち直しており、個人消費は緩やかに増加しております。

こうした中、当社グループは顧客満足度を高めるため、商品・サービスおよび空間の品質向上を実施いたしました。インバウンド層や健康志向など多様化するマーケットに適応するためメニュー開発や業態開発をしている中で、1月に台東区雷門に「権八 浅草吾妻橋」を、5月には港区南青山に「Farm to Table」をテーマにしたカスタムサラダとヘルシーボウルの新業態である「GOOD LIFE FACTORY 南青山」を新規出店いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、47億46百万円（前年同期比1.8%増）となり、当第2四半期連結累計期間末の総店舗数は50店舗となりました。

報告セグメントについては、当社グループはレストラン経営を主とする飲食事業という単一セグメントでありますので、記載を省略しております。

売上高をコンセプト（営業形態）別にみると、「ラ・ボエム」は13億52百万円（前年同期比2.1%増）、「ゼスト」は1億88百万円（同5.1%増）、「モンズーンカフェ」は11億53百万円（同3.3%減）、「権八」は12億29百万円（同0.9%増）、「ディナーレストラン」は3億89百万円（同5.1%減）、「フードコロシアム」は96百万円（同5.6%減）、「その他」は3億37百万円（同43.5%増）となりました。既存店売上高につきましては、前年同期比2.3%の減収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して5億21百万円減少し、70億86百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末と比較して3億57百万円減少し、10億4百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金が1億76百万円、受取手形及び売掛金が1億61百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末と比較して1億64百万円減少し、60億82百万円となりました。主な変動要因は、有形固定資産が1億33百万円減少したことによるものであります。

流動負債は前連結会計年度末と比較して2億47百万円減少し、12億21百万円となりました。主な変動要因は、支払手形及び買掛金が69百万円減少したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末と比較して1億55百万円減少し、18億64百万円となりました。主な変動要因は、長期借入金が1億54百万円減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比較して1億18百万円減少し、40億円となりました。主な変動要因は、利益剰余金が90百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して1億76百万円減少し、4億30百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純損失84百万円、減価償却費1億28百万円などにより、営業活動の結果得られた資金は、96百万円（前年同期は17百万円の支出）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

有形固定資産の取得による支出88百万円などにより、投資活動の結果使用した資金は96百万円（前年同期は3億30百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

長期借入れによる収入1億50百万円、長期借入金の返済による支出3億18百万円などにより、財務活動の結果使用した資金は1億71百万円（前年同期は81百万円の収入）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期の連結業績予想につきましては、売上高99億42百万円、営業利益49百万円、経常利益63百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2百万円を見込んでおります。

なおこの予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	607,217	430,590
受取手形及び売掛金	392,255	230,974
商品及び製品	15,295	13,480
原材料及び貯蔵品	171,856	144,094
その他	175,117	185,339
流動資産合計	1,361,742	1,004,478
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,575,489	8,430,092
減価償却累計額	△6,182,168	△6,152,614
減損損失累計額	△493,507	△468,088
建物及び構築物(純額)	1,899,813	1,809,389
土地	2,678,860	2,649,315
その他	281,487	267,735
有形固定資産合計	4,860,161	4,726,441
無形固定資産	7,962	6,454
投資その他の資産		
差入保証金	1,332,725	1,312,970
その他	45,431	36,158
投資その他の資産合計	1,378,157	1,349,129
固定資産合計	6,246,280	6,082,025
資産合計	7,608,023	7,086,503

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	376,889	307,076
1年内返済予定の長期借入金	245,684	226,795
未払法人税等	63,434	44,041
その他	782,927	643,350
流動負債合計	1,468,935	1,221,263
固定負債		
社債	670,000	670,000
長期借入金	701,914	547,330
退職給付に係る負債	32,883	35,584
資産除去債務	567,595	571,064
その他	48,086	40,737
固定負債合計	2,020,480	1,864,716
負債合計	3,489,415	3,085,980
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,474,256	1,474,307
資本剰余金	2,129,256	2,129,307
利益剰余金	605,427	514,597
自己株式	△218	△234
株主資本合計	4,208,722	4,117,979
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,636	6,873
為替換算調整勘定	△113,422	△144,084
その他の包括利益累計額合計	△106,785	△137,211
新株予約権	16,670	19,755
純資産合計	4,118,607	4,000,523
負債純資産合計	7,608,023	7,086,503

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	4,662,681	4,746,228
売上原価	4,287,438	4,323,260
売上総利益	375,243	422,967
販売費及び一般管理費	436,981	482,163
営業損失(△)	△61,738	△59,195
営業外収益		
協賛金収入	-	17,361
その他	13,191	14,920
営業外収益合計	13,191	32,281
営業外費用		
支払利息	11,846	11,704
為替差損	79,229	28,774
その他	1,551	385
営業外費用合計	92,627	40,865
経常損失(△)	△141,174	△67,778
特別損失		
減損損失	-	9,176
投資有価証券評価損	-	7,172
特別損失合計	-	16,349
税金等調整前四半期純損失(△)	△141,174	△84,128
法人税、住民税及び事業税	12,531	7,997
法人税等調整額	△1,652	△1,296
法人税等合計	10,879	6,701
四半期純損失(△)	△152,053	△90,829
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△152,053	△90,829

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純損失(△)	△152,053	△90,829
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,715	236
為替換算調整勘定	△147,721	△30,662
その他の包括利益合計	△152,436	△30,425
四半期包括利益	△304,489	△121,255
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△304,489	△121,255
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△141,174	△84,128
減価償却費	108,012	128,690
減損損失	-	9,176
受取利息及び受取配当金	△179	△509
支払利息	11,846	11,704
為替差損益(△は益)	79,229	28,774
有形固定資産除却損	1,026	360
投資有価証券評価損益(△は益)	-	7,172
売上債権の増減額(△は増加)	85,619	161,054
たな卸資産の増減額(△は増加)	15,966	29,223
仕入債務の増減額(△は減少)	△75,052	△69,524
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	118	2,700
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	-	△4,696
未払費用の増減額(△は減少)	△20,732	△18,653
前受収益の増減額(△は減少)	△29,214	△17,347
その他	△671	△43,849
小計	34,796	140,149
利息及び配当金の受取額	179	509
利息の支払額	△11,989	△11,727
法人税等の支払額	△40,395	△32,166
営業活動によるキャッシュ・フロー	△17,409	96,766
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△315,169	△88,926
資産除去債務の履行による支出	-	△26,996
差入保証金の差入による支出	△15,012	-
差入保証金の回収による収入	-	19,518
投資活動によるキャッシュ・フロー	△330,182	△96,404
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	180,000	150,000
長期借入金の返済による支出	△97,762	△318,958
リース債務の返済による支出	△2,316	△2,316
ストックオプションの行使による収入	1,374	78
その他	-	△16
財務活動によるキャッシュ・フロー	81,295	△171,212
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,948	△5,776
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△268,245	△176,626
現金及び現金同等物の期首残高	608,641	607,217
現金及び現金同等物の四半期末残高	340,395	430,590

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、退店等の新たな情報の入手に伴い、店舗の退去時に必要とされる原状回復費用及び店舗の使用見込期間に関して見積りの変更を行いました。見積りの変更による増加額を変更前の資産除去債務残高に9,176千円加算しております。

なお、この変更に伴って計上した有形固定資産については、減損損失として処理をしましたので、当該見積りの変更の結果、当第2四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純損失は9,176千円増加しております。